

静岡中央RCの設立

日本平ロータリークラブ
森様(当時:新クラブ設立準備委員長)



今から22年前、新クラブ設立準備委員長を仰せつかり、静岡中央ロータリークラブの誕生に微力ながら尽くさせていただきました。その当時昭和61年は、私共日本平クラブが創立15周年を迎える年でした。そしてたまたま、地区の拡大委員長をなさっていた静岡東クラブの坂本バスターガバナーより、15周年の記念事業として、静岡市に六番目のクラブを作ってみてはどうかとお話をいただきました。会合を重ねましたが、古いロータリーには静岡市を5つに分割した”テリトリー”の問題がありました。そこで、テリトリーを静岡市全域とした”2階建方式”という制度を採用することとしました。11月に実施した、創立15周年の記念式典において記念事業として「アディショナルクラブの設立」を宣言しました。

年が変わってすぐ1月に、故人になられた、原さん、相川会長、退会された、狩野さん、そして岩本さん、小泉さん、小柳さん、わたくし森の7名の構成で設立準備委員会を立ち上げました。

最初にやれなければならない仕事として、当時日本平ロータリークラブの会員は75名で、その中から移籍会員・キーメンバーの選出のためのアンケート調査を行い、吉永さん、宇井さん、溝口さん、小塩さん、山崎さん、石川さんの6名を選ばせていただきました。

そして、新会員候補者の募集のため、新クラブ会員紹介カードを他の4クラブに配布したところ、45名の紹介がありました。一業種一人が原則とし、選考して29名+6名の35名で静岡中央ロータリークラブのスタートとなりました。ご挨拶代わりに昔話をさせていただきました。

静岡日本平RCの思い出

静岡中央ロータリークラブ
溝口会員(当時:設立キーメンバー)



現在の静岡中央ロータリークラブの会員の中には、日本平ロータリークラブが親クラブであることを知らない人もいます。

私が日本平ロータリークラブに入会したのは、昭和58年、35歳の時でした。当時はJCメンバーで、繁田さんに”ロータリーに入れ””誘われるうちが華だぞ”と紹介され入会いたしました。入会時の情報委員長は森さんでロータリーの教育を受けました。会長は狩野さんだったと思います。

思い出深いメンバーとして、狩野さん、相川さん、青島さん、岩本さん、野末さん、栗田さん、小柳さん、2人の高木さん、増田先生、田辺さん、鈴木さん等で、皆さんに可愛がっていただきました。

入会後まもなく、台湾「台中港区」の続名式に同行しました。体育館のようなところでの歓迎式でしたが、ロータリークラブメンバーの奥さん手作りの料理を振る舞っていただき、ホテルのようなところでやるよりもいいなと感動しました。

キーメンバーとして6名移籍しましたが、現存は私のみとなりました。裏話として、出席の悪いメンバーが選ばれたようです。「新しいクラブになったら、出席しなさい。」と言われました。特別代表は寺戸常三郎さん、ガバナーは内田智康さんでした。

静岡中央ロータリークラブも満21歳となりました。今後も親クラブのことを忘れず、見習っていきたいとおもっております。これからも永遠に親であり、子でありますのでご指導いただきたいと思います。

親睦会

進行/静岡中央RC(親睦 上條会員)
乾杯/静岡中央RC(太田会員)
アトラクション/ジャズ系プロ演奏
(栗田直子様vo・横山えみ子様piano・谷津けいこ様bass)
ロータリーソング/静岡中央RC(親睦 長嶋会員・手に手つないで)

